

市庁舎跡地活用市民ワークショップ

ワークショップ全4回のまとめ

●ワークショップを終えて

ワークショップにご参加の皆さま、長期にわたり活発な意見交換をしていただきありがとうございました。

今回のワークショップでは、市役所新庁舎完成（平成32年度を予定）に伴う、庁舎移転後の跡地の活用方法について、市民の方々の声を直接お聞きし、有意義な意見をたくさんいただくことができました。



全4回のワークショップを通じて、皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後策定する「市庁舎跡地活用基本構想」の参考とさせていただきます。

ワークショップ全4回の内容

	テーマ・内容	日時・場所	参加者数
第1回	<p>市庁舎跡地活用に期待すること</p> <p>参加者の方々それぞれの「市庁舎跡地活用に関する“思い”や“期待”」について共有しました。</p>	<p>●日時 H28年2月27日(土) 午後1時～3時</p> <p>●場所 岐阜市役所 大会議室</p>	<p>Aグループ： 6名 Bグループ： 6名 Cグループ： 5名 計：17名</p>
第2回	<p>まちを歩いて跡地の役割を考えよう</p> <p>みんなでまちあるきを行い、まちの様子を観察しました。まちなかの良い点や課題・改善点を見つけるとともに、市庁舎跡地がどのような役割を担うと良いのかを考えました。</p>	<p>●日時 H28年7月2日(土) 午後1時～4時</p> <p>●場所 まちあるき： JR岐阜駅～岐阜市役所 ワークショップ： 岐阜市役所4-1会議室</p>	<p>1グループ： 6名 2グループ： 6名 計：12名</p>
第3回	<p>活用のアイデアを考えよう</p> <p>これまでのワークショップの結果を踏まえながら、グループごとに市庁舎跡地が将来担うべき役割をあらためて検討し、その実現に向けた条件整理や対応の検討を、SWOT分析という手法を用いて行いました。また、その分析結果に基づき、活用のコンセプトを考えました。</p>	<p>●日時 H28年8月6日(土) 午後1時～3時</p> <p>●場所 岐阜市役所 全員協議会室</p>	<p>1グループ： 6名 2グループ： 7名 計：13名</p>
第4回	<p>跡地活用のアイデアをまとめよう</p> <p>第3回ワークショップで設定した役割・コンセプトに基づき、跡地にどのような施設があると良いのかを考え、最後のまとめとして施設全体の愛称をつけました。</p>	<p>●日時 H28年9月3日(土) 午後1時～3時</p> <p>●場所 みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス</p>	<p>1グループ： 4名 2グループ： 4名 計： 8名</p>



☆第1回ワークショップ ～市庁舎跡地活用に期待すること～

意見のまとめ

○子どもから高齢者の誰もが使える場所、いろんな人が立ち寄りかつ交流できる場所、インパクトのある岐阜市全域に波及効果のある場所、気軽に立ち寄れる・ゆったりできる場所にしたい！

アイスブレイクで、緊張をときほぐしたあと、跡地の活用に期待することを話し合いました。



※中日新聞（H28年2月28日(日)朝刊122面）で取り上げられました！

☆第2回ワークショップ ～まちを歩いて跡地の役割を考えよう～

意見のまとめ

- 柳ヶ瀬や駅周辺などでは、にぎわいがある一方で、現庁舎周辺では、興味の湧くものがないため回遊しにくく、駅から歩くには遠い。
- 跡地自体を求心力のある場所にすれば、遠くからでもきたくなるのではなるはずなので、オリジナリティのある跡地ならではの雰囲気を作る必要がある。

まちあるきのあとに、跡地の役割を考えました。





☆第3回ワークショップ ～活用のアイデアを考えよう～

意見のまとめ

- 1グループ/役割：市民も観光客も立ち寄れて語り合える場所
 コンセプト：食べる・遊ぶ×憩う（行こう）岐阜市民
- 2グループ/役割：岐阜＝〇〇がわかる場所+差別化できる場所
 コンセプト：市民の理解・気軽さ、岐阜らしさの融合・交流+複合施設文化との連携+地域の協力

SWOT分析という手法に
 チャレンジし、そこから
 コンセプトを考えました。



※中日新聞（H28年8月7日(日)朝刊126面）で取り上げられました！

☆第4回ワークショップ ～跡地活用のアイデアをまとめよう～

意見のまとめ

- 1グループ/アソビバ!!ギフReパーク
 →跡地を再び使い、元気に遊べて活動できる場所にしたいという思いから愛称をつけました。
- 2グループ/「岐阜スクエア」
 →いろんな人やモノが交わり、新たな創造が生まれる場所にしたいという思いから愛称をつけました。

	1グループ	2グループ
役割	市民も観光客も立ち寄れて語り合える場所	岐阜＝〇〇がわかる場所+差別化できる場所
コンセプト	アクティブに憩う	市民の理解・気軽さ、岐阜らしさの融合・交流+複合施設文化との連携+地域の協力
愛称	<u>アソビバ!!ギフReパーク</u>	<u>岐阜スクエア</u>
施設概要	1. 広場・親水ゾーン 2. アスレチックゾーン 3. イベントゾーン（半屋外） 4. カフェ・ショップ 5. カルチャーゾーン（ボルダリング等）	1. 創造施設 2. 市民参加施設 3. ICT活用施設

※1グループは、役割・コンセプトを修正



最終回は、ぎふメディアコスモスの
 のどキテラスで行いました。

※中日新聞（H28年9月4日(日)朝刊122面）と岐阜新聞（H28年9月6日(火)朝刊23面）で取り上げられました！



●ワークショップの総評

岐阜市 企画部 政策調整課 課長 石塚 総評

皆さまワークショップお疲れ様でした。1回目から4回目までにたくさんのご意見いただきました。

第4回ワークショップでは、施設の愛称をつけようということで、それぞれのグループにまとめたいただきました。まず、1グループの方は、全体としては緑のある公園ですが、さらにそこに農場や、畑をつくるという大胆な発想で考えていただきました。2グループの方は、このまちなかに、年中にぎわいをつくりだそうという発想の中で愛称、テーマ、いろいろな施設を考えていただきました。1グループと2グループである意味で反対の発想になっており、大変おもしろい提案になったのではないかと感じております。

この全4回のワークショップでいただきましたご意見は、今後、策定を予定している市庁舎跡地活用基本構想の参考にさせていただきたいと考えております。本日まで大変長くにわたって、様々なご意見をいただき、本当にありがとうございました。



岐阜市 企画部 部長 牧ヶ野 総評

皆さまのおかげをもちまして、全4回のワークショップを無事終了することができました。改めて、厚くお礼申し上げます。

この度のワークショップは、新庁舎を「ぎふメディアコスモス」の南側に建設することに伴う、現庁舎移転後の跡地の活用方法の基本構想を策定するに当たり、広く皆さまのご意見をお聞きするために開催いたしました。

最終回となる第4回ワークショップでは跡地活用における施設についてさまざまな意見を出していただき、そのまとめとして「施設の愛称」を考えていただきました。1グループはイベントゾーンなどがあり主に非日常的な利用、2グループは市民参加型で主に日常的な利用が想定できるものだと考えています。各グループでいただいた意見は、ある意味で対称的なものですが、いっしょにできることもあると思います。

まちあるきでも見てもらいましたが、駅前の再開発、ぎふメディアコスモスの完成により、岐阜市の中心部ににぎわいはずいぶんと変わってきました。市庁舎跡地は、駅前、柳ヶ瀬、メディアコスモスとつながる場所として、どのようなかたちになれば、この中心部がより良く変わっていくのか、大きな課題だと考えています。また、皆さまの関心の高さから、今後の中心部に対する思いというのは、非常に大きいものだと感じています。

私どもは今後、市民アンケートなどで皆さまの意見をお聞きしながら、跡地活用の基本構想を策定してまいります。人口が減少していく中で、数十年後まで使っていくというイメージを持った時、市民の皆さま方が利用しやすい、あってよかったなと思える場所にしていきたいためには長い時間をかけて議論をする必要があると考えております。

今回のワークショップでいただいた、様々な意見の中には、参考になるご意見が多くありました。皆さまの貴重なお時間をいただき、検討されたご意見ですので大切にしていきたいと考えています。本当に長い期間にわたっての活発なご議論ありがとうございました。

